

(別添1)

ア 基金事業

内訳

a 整備事業

地域協議会名	整理番号	No.	地区名	取組主体名	対象作物名	取組目標	取組目標		事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	取組目標の達成状況	取組主体の評価	地域協議会等の評価	都道府県の評価
							現状値 (〇年度)	目標値 (〇年度)					
菊池市農業再生協議会	5	1	菊池市	農業者	施設野菜苗	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とすること	(29年度) 0%	(R2年度) 50%	種苗生産供給施設 ハウス(面積40,596㎡)、播種ライン設備、接ぎ木設備、発芽設備、ハウス内育苗設備、養生設備、ハウス内順化設備、用土充填移植ライン設備、付帯設備一式	200.0%	R3より施設が本格稼働したため、今後は出荷量が伸び、目標を達成できる見込み。課題は労働力の確保で、募集等をかけている状況。	施設の本格稼働が始まったことにより生産力が向上するため、目標の達成見込み有。人員確保については、協議会としても協力する必要用があると史料。	施設の本格稼働により、生産力が向上している。募集中であるスタッフを採用し、労働力の確保により目標達成の見込み。

b 生産支援事業

地域協議会名	整理番号	No.	地区名	取組主体名	対象作物名	取組目標	取組目標		事業内容 (機械(能力、台数)、リース機械(能力、台数)、資材費等)	取組目標の達成状況	取組主体の評価	地域協議会等の評価	都道府県の評価
							現状値 (〇年度)	目標値 (〇年度)					
熊本地域農業再生協議会	2	1	熊本市河内地区他	農業者の組織する団体	温州みかん	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とする。	(27,28年度) 72.6% 総出荷量 17,216t 契約数量 12,500t	(R2年度) 85.6% 総出荷量 18,100t 契約数量 15,500t	H30 シートマルチ導入(1,197a)	133.1%	高品質果実生産及びブランド確立の為、部会全体での推進等、積極的な取り組みが出来た。	契約数量を大幅に増やすことが出来、目標を達成することができた。引き続き契約栽培の割合の増加を目指していく。	マルチ被覆による高品質化に取組み、着実に契約数量の増加ができています。
熊本地域農業再生協議会	3	1	熊本市河内・芳野地区	農業者の組織する団体	温州みかん、不知火	販売額の10%以上の増加(円)	(27,28年度) 267223505	(R2年度) 307307030	①-1 生産資材 シートマルチ資材導入 492a ②-2 リース機械 ・スピードスプレヤー 7台 ・簡易型製封函機 4台 ・ハイマストフォークリフト 3台 ・コンテナ移動機 1台 ・剪定枝粉砕機 5台 ・選果機 1台	368.9%	面積や反収の増加により、目標の数値を超えることができた。引き続き継続していきたい。	年々出荷量を増やし販売単価も高くすることで、目標を達成できた。引き続き生産性の向上に努める。	販売努力と生産努力により、高単価を実現し、目標を達成できている。
熊本地域農業再生協議会	4	1	熊本市河内地区他	農業者	温州みかん	販売額の10%以上の増加(円)	(27,28年度) 58506920	(R2年度) 67074700	①生産資材 シートマルチ導入(0.27ha) ②リース機械 スピードスプレヤー 1台 自動開閉装置 1式 自動封緘機 1台	42.6%	今年度は8月中旬から9月中旬の長雨により、日照不足、糖度低下、酸度低下が起り、腐敗しやすい状況もあり評価が低迷。弊社は対策を講じたことで9月の実績は良かったが、市場内におけるみかんの評価低迷分まではカバーが出来なかった。9月の低評価は10月以降にも影響が及んだ。9月予定分が10月に回るなど供給過多が続いたことで、1月まで早生蜜柑が流通する結果となった。弊社は高付加価値のみかんは単価は一定レベルを保持してきたが、レギュラークラスのみかんは市場評価の低迷と消費者評価の低迷で単価を下げる形となった。また晩生みかん(1月~3月)が季候の変動の負荷により結実が少なく不作となり、目標達成に至らなかった。今後については、自社生産を増やすとともに新品種への更新と省力化圃地の造成、新規圃場の獲得を進め、改善を図ってきたい。	市場が求める果実品質を満たしていないことや、出荷時期の偏りによる需給バランスの偏りにより、単価の低迷に繋がっているため、高品質果実生産技術や品種構成の見直し等について指導を行う。	県全体としてはR2年産の作況は悪くなかったため、生産量が目標に達しなかった理由を精査し、具体的な改善策が必要と考える。また、市場評価、消費者評価を下げた原因についても同様。
宇城市農業再生協議会	3	1	宇城市宇土市	農業者の組織する団体	温州みかん、不知火	販売額の10%以上の増加(円/10a)	(28年度) 517660	(R2年度) 574664	【資材の導入】 多孔質資材(タイベック760AG) (1.5m×100m) 85本 (2.0m×100m) 60本 (3.0m×100m) 12本 直管(横円) (19.1mm×5060mm) 2,396本 カセットストロング (19型) 11,386個	35.6%	梅雨期の多大な降雨による黒点病の発生や台風被害による風キズ果の発生で青果率が低下した。また、デコボンの収穫期の乾燥でコハシ症が発生し同じく青果率が低下した事で目標に対し未達となった。今後、さらに多孔質資材の適期被覆と植調剤の利用、適期防除を徹底し目標達成に繋げていく。	宇城地域振興局及び行政機関と連携し、多孔質資材及び植調剤等の利用促進と栽培技術の底上げを行い、達成に向けて部会生産者への指導を徹底する。	現状から面積が大きく減少している原因は何か。県全体としては、R2年産は単価は悪くなかったため、単価が現状値より改善されていない理由を精査し、具体的な改善策を検討すべきと考える。

b 生産支援事業

地域協議会名	整理番号	No.	地区名	取組主体名	対象作物名	取組目標	取組目標		事業内容 (機械(能力、台数)、リース機械(能力、台数)、資材費等)	取組目標の達成状況	取組主体の評価	地域協議会等の評価	都道府県の評価
							現状値 (○年度)	目標値 (○年度)					
菊池市農業再生協議会	2	13	菊池市	農業者	いちご	販売額の10%以上の増加 (円/10a)	(28年度) 4933824	(R2年度) 6470450	深耕可能トラクターリース導入(1台)	-53.5%	育苗期において炭疽病が大発生し苗が不足し定植時期に遅れが生じ、収量に影響した。	育苗期において炭疽病が大発生し苗が不足し定植時期に遅れが生じ、収量に影響し目標達成できなかった。協議会としてはこのようなことが発生しないよう研修会等を実施し、技術の向上を図っていく。	育苗期に於ける炭疽病の大発生が苗不足に影響し、定植時期に遅れ、収量に影響し目標未達となった。県としては、研修会等による技術指導を徹底し、技術の向上を図り、取組目標達成に努める。
		14	大津町	農業者	いちご	販売額の10%以上の増加 (円/10a)	(28年度) 4168872	(R2年度) 5280063	育苗ハウス資材導入(一式/間口5.4m*46m、5.4m*47m、5.4m*49m) 自動灌水装置リース導入(一式) 暖房機(1台)リース導入	209.7%	栽培管理技術の向上により目標達成	低コスト耐候性ハウス等の整備、機械・資材等の導入により、イチゴの生産性、品質の向上により、販売額の増加の成果目標が概ね達成できた。	低コスト耐候性ハウス等の整備、機械・資材等の導入により、イチゴの生産性、品質の向上により、販売額の増加の成果目標が概ね達成できた。
		15	菊池市	農業者	いちご	販売額の10%以上の増加 (円/10a)	(28年度) 4506727	(R2年度) 5557935	自動巻上げ装置リース導入(一式)	201.2%	栽培管理技術の向上により目標達成	低コスト耐候性ハウス等の整備、機械・資材等の導入により、イチゴの生産性、品質の向上により、販売額の増加の成果目標が概ね達成できた。	低コスト耐候性ハウス等の整備、機械・資材等の導入により、イチゴの生産性、品質の向上により、販売額の増加の成果目標が概ね達成できた。
		16	菊池市	農業者	いちご	販売額の10%以上の増加 (円/10a)	(28年度) 3411045	(R2年度) 5795209	自動灌水装置リース導入(一式)	112.2%	栽培管理技術の向上により目標達成	低コスト耐候性ハウス等の整備、機械・資材等の導入により、イチゴの生産性、品質の向上により、販売額の増加の成果目標が概ね達成できた。	低コスト耐候性ハウス等の整備、機械・資材等の導入により、イチゴの生産性、品質の向上により、販売額の増加の成果目標が概ね達成できた。
		17	菊池市	農業者	いちご	販売額の10%以上の増加 (円/10a)	(28年度) 6659451	(R2年度) 7017522	単棟ハウス資材導入(間口5.6m*90m) 育苗ハウス資材導入(間口6.0m*56m)	-114.2%	定植直後のハダニの大発生により収量に大きく影響した。	ハダニの発生により想定していた収量の確保ができなかったため、目標達成ができなかった。協議会としてはこのようなことが発生しないよう研修会等を実施し、技術の向上を図っていく。	ハダニの発生による被害が収量に影響し目標未達となった。県としては、研修会等による技術指導を徹底し、技術の向上を図り、取組目標達成に努める。
		18	合志市	農業者	いちご	販売額の10%以上の増加 (円/10a)	(28年度) 4192060	(R2年度) 5925500	換気扇・循環扇リース導入(一式)	33.9%	育苗期において炭疽病が大発生し苗が不足し定植時期に遅れが生じ、収量に影響した。	育苗期において炭疽病が大発生し苗が不足し定植時期に遅れが生じ、収量に影響し目標達成できなかった。協議会としてはこのようなことが発生しないよう研修会等を実施し、技術の向上を図っていく。	育苗期に於ける炭疽病の大発生が苗不足に影響し、定植時期に遅れ、収量に影響し目標未達となった。県としては、研修会等による技術指導を徹底し、技術の向上を図り、取組目標達成に努める。
		24	菊池市	農業者	ごぼう	販売額の10%以上の増加 (円/10a)	(28年度) 480,375	(R2年度) 566,842	・ラジコン動噴リース導入(1台)	7.3%	コロナ禍の影響により、販売単価が著しく低下したため未達	新型コロナウイルスの影響により、販売単価が著しく低下した。地域協議会としては引き続き良質なごぼうの生産を指導するとともに新型コロナウイルス禍における新たな需要の創出を模索する必要があると考える。	新型コロナウイルスの影響により、販売単価が著しく低下した。良質なごぼう生産への指導徹底、コロナ禍における新たな需要の創出模索への助言を行う。
		25	菊池市	農業者	ごぼう	販売額の10%以上の増加 (円/10a)	(28年度) 419674	(R2年度) 516199	・トラクターリース導入(1台) ・パラソイラリース導入(1台)	420.0%	コロナ禍の影響を受ける前に出荷が終了したため達成	新型コロナウイルスの影響を受ける前に出荷ができたことにより、目標を達成できた。	新型コロナウイルスの影響を受ける前に出荷ができたことにより、目標を達成できた。
		31	菊池市	農業者	ごぼう	販売額の10%以上の増加 (円/10a)	(28年度) 420,608	(R2年度) 483,700	・ラジコン動噴セットリース導入(1台)	207.6%	コロナ禍の影響を受ける前に出荷が終了したため達成	新型コロナウイルスの影響を受ける前に出荷ができたことにより、目標を達成できた。	新型コロナウイルスの影響により、販売単価が著しく低下した。良質なごぼう生産への指導徹底、コロナ禍における新たな需要の創出模索への助言を行う。
		32	菊池市	農業者	ごぼう	販売額の10%以上の増加 (円/10a)	(28年度) 515,837	(R2年度) 624,162	ラジコン動噴リース導入(1台)	-194.3%	コロナ禍の影響により、販売単価が著しく低下したため未達	新型コロナウイルスの影響により、販売単価が著しく低下した。地域協議会としては引き続き良質なごぼうの生産を指導するとともに新型コロナウイルス禍における新たな需要の創出を模索する必要があると考える。	新型コロナウイルスの影響により、販売単価が著しく低下した。良質なごぼう生産への指導徹底、コロナ禍における新たな需要の創出模索への助言を行う。

b 生産支援事業

地域協議会名	整理番号	No.	地区名	取組主体名	対象作物名	取組目標		事業内容 (機械(能力、台数)、リース機械(能力、台数)、資材費等)	取組目標の達成状況	取組主体の評価	地域協議会等の評価	都道府県の評価	
						現状値 (○年度)	目標値 (○年度)						
菊池市農業再生協議会	3	33	菊池市	農業者	ごぼう	販売額の10%以上の増加 (円/10a)	(過去5年間で3カ年平均単収) 448726	(R2年度) 520428	ロータリートラクタリース導入(1台)	-92.6%	コロナ禍の影響により、販売単価が著しく低下したため未達	新型コロナウイルスの影響により、販売単価が著しく低下した。地域協議会としては引き続き良質なごぼうの生産を指導するとともに新型コロナウイルス禍における新たな需要の創出を模索する必要があると考える。	新型コロナウイルスの影響により、販売単価が著しく低下した。良質なごぼう生産への指導徹底、コロナ禍における新たな需要の創出模索への助言を行う。
		34	菊池市	農業者	ごぼう	販売額の10%以上の増加 (円/10a)	(過去5年間で3カ年平均単収) 527182	(R2年度) 596159	ゴボウ洗浄機リース導入(1台)	-88.6%	コロナ禍の影響により、販売単価が著しく低下したため未達	新型コロナウイルスの影響により、販売単価が著しく低下した。地域協議会としては引き続き良質なごぼうの生産を指導するとともに新型コロナウイルス禍における新たな需要の創出を模索する必要があると考える。	新型コロナウイルスの影響により、販売単価が著しく低下した。良質なごぼう生産への指導徹底、コロナ禍における新たな需要の創出模索への助言を行う。
		35	菊池市	農業者	ごぼう	販売額の10%以上の増加 (円/10a)	(過去5年間で3カ年平均単収) 534894	(R2年度) 621208	ロータリートラクタリース導入(1台)	-129.1%	コロナ禍の影響により、販売単価が著しく低下したため未達	新型コロナウイルスの影響により、販売単価が著しく低下した。地域協議会としては引き続き良質なごぼうの生産を指導するとともに新型コロナウイルス禍における新たな需要の創出を模索する必要があると考える。	新型コロナウイルスの影響により、販売単価が著しく低下した。良質なごぼう生産への指導徹底、コロナ禍における新たな需要の創出模索への助言を行う。
		36	菊池市	農業者	ごぼう	販売額の10%以上の増加 (円/10a)	(過去5年間で3カ年平均単収) 516393	(R2年度) 609750	トラクターリース導入(1台) ウィングハローリース導入(1台)	241.8%	コロナ禍の影響を受ける前に出荷が終了したため達成	新型コロナウイルスの影響を受ける前に出荷ができたことにより、目標を達成できた。	新型コロナウイルスの影響により、販売単価が著しく低下した。良質なごぼう生産への指導徹底、コロナ禍における新たな需要の創出模索への助言を行う。
		37	菊池市	農業者	ごぼう	販売額の10%以上の増加 (円/10a)	(過去5年間で3カ年平均単収) 478953	(R2年度) 565008	トラクターリース導入(1台) ウィングハローリース導入(1台)	-128.3%	コロナ禍の影響により、販売単価が著しく低下したため未達	新型コロナウイルスの影響により、販売単価が著しく低下した。地域協議会としては引き続き良質なごぼうの生産を指導するとともに新型コロナウイルス禍における新たな需要の創出を模索する必要があると考える。	新型コロナウイルスの影響により、販売単価が著しく低下した。良質なごぼう生産への指導徹底、コロナ禍における新たな需要の創出模索への助言を行う。
		38	菊池市	農業者	ごぼう	販売額の10%以上の増加 (円/10a)	(過去5年間で3カ年平均単収) 485331	(R2年度) 548053	ゴボウハーベスターリース導入(1台)	-50.6%	コロナ禍の影響により、販売単価が著しく低下したため未達	新型コロナウイルスの影響により、販売単価が著しく低下した。地域協議会としては引き続き良質なごぼうの生産を指導するとともに新型コロナウイルス禍における新たな需要の創出を模索する必要があると考える。	新型コロナウイルスの影響により、販売単価が著しく低下した。良質なごぼう生産への指導徹底、コロナ禍における新たな需要の創出模索への助言を行う。
		39	菊池市	農業者	ごぼう	販売額の10%以上の増加 (円/10a)	(過去5年間で3カ年平均単収) 563203	(R2年度) 652781	トラクターリース導入(1台)	142.6%	コロナ禍の影響を受ける前に出荷が終了したため達成	新型コロナウイルスの影響を受ける前に出荷ができたことにより、目標を達成できた。	新型コロナウイルスの影響により、販売単価が著しく低下した。良質なごぼう生産への指導徹底、コロナ禍における新たな需要の創出模索への助言を行う。
		40	菊池市	農業者	ごぼう	販売額の10%以上の増加 (円/10a)	(過去5年間で3カ年平均単収) 553370	(R2年度) 642169	トラクターリース導入(1台)	-202.6%	コロナ禍の影響により、販売単価が著しく低下したため未達	新型コロナウイルスの影響により、販売単価が著しく低下した。地域協議会としては引き続き良質なごぼうの生産を指導するとともに新型コロナウイルス禍における新たな需要の創出を模索する必要があると考える。	新型コロナウイルスの影響により、販売単価が著しく低下した。良質なごぼう生産への指導徹底、コロナ禍における新たな需要の創出模索への助言を行う。
		41	菊池市	農業者	ごぼう	販売額の10%以上の増加 (円/10a)	(過去5年間で3カ年平均単収) 512679	(R2年度) 604709	トラクターリース導入(ロータリー含む)(1台) ウィングハローリース導入(1台)	-73.8%	コロナ禍の影響により、販売単価が著しく低下したため未達	新型コロナウイルスの影響により、販売単価が著しく低下した。地域協議会としては引き続き良質なごぼうの生産を指導するとともに新型コロナウイルス禍における新たな需要の創出を模索する必要があると考える。	新型コロナウイルスの影響により、販売単価が著しく低下した。良質なごぼう生産への指導徹底、コロナ禍における新たな需要の創出模索への助言を行う。

b 生産支援事業

地域協議会名	整理番号	No.	地区名	取組主体名	対象作物名	取組目標		事業内容 (機械(能力、台数)、リース機械(能力、台数)、資材費等)	取組目標の達成状況	取組主体の評価	地域協議会等の評価	都道府県の評価	
						現状値 (○年度)	目標値 (○年度)						
		42	菊池市	農業者	ごぼう	販売額の10%以上の増加 (円/10a)	(過去5年間で3年平均単収) 541384	(R2年度) 627891	トラクターリース導入(1台) フレールモアリース導入(1台)	-288.8%	コロナ禍の影響により、販売単価が著しく低下したため未達	新型コロナウイルスの影響により、販売単価が著しく低下した。良質なごぼう生産への指導徹底、コロナ禍における新たな需要の創出模索への助言を行う。	
菊池市農業再生協議会	4	9	菊池市	農業者	花き	10aあたり販売額の10%以上の増加	(29年度) 2374120	(R2年度) 2775345	・暖房機リース導入(1台)	-26.8%	新型コロナウイルスの影響で単価安	新型コロナウイルス感染拡大に伴う花き需要の大幅減のため達成できなかった。地域協議会としては今後の推移をみるとともに、コロナ禍における需要の創出を模索する必要があると考える。	新型コロナウイルス感染拡大に伴う需要の減少と単価の下落により、成果目標の達成に遅れが生じている。このため、需要期に合わせた計画的な出荷と品質向上による目標達成に努める。あわせて、新たな需要の創出に努める。
		15	菊池市	農業者	花き	10aあたり販売額の10%以上の増加	(29年度) 2082488	(R2年度) 2459893	・暖房機リース導入(2台) (オイルタンク・防油堤を含む)	-34.6%	新型コロナウイルスの影響で単価安	新型コロナウイルス感染拡大に伴う花き需要の大幅減のため達成できなかった。地域協議会としては今後の推移をみるとともに、コロナ禍における需要の創出を模索する必要があると考える。	新型コロナウイルス感染拡大に伴う需要の減少と単価の下落により、成果目標の達成に遅れが生じている。このため、需要期に合わせた計画的な出荷と品質向上による目標達成に努める。あわせて、新たな需要の創出に努める。
		16	菊池市	農業者	花き	10aあたり販売額の10%以上の増加	(29年度) 1837809	(R2年度) 2125545	・管理機(マルチ・土壌消毒機セット)リース導入(1台)	-149.2%	新型コロナウイルスの影響で単価安	新型コロナウイルス感染拡大に伴う花き需要の大幅減のため達成できなかった。地域協議会としては今後の推移をみるとともに、コロナ禍における需要の創出を模索する必要があると考える。	新型コロナウイルス感染拡大に伴う需要の減少と単価の下落により、成果目標の達成に遅れが生じている。このため、需要期に合わせた計画的な出荷と品質向上による目標達成に努める。あわせて、新たな需要の創出に努める。
		17	菊池市	農業者	花き	10aあたり販売額の10%以上の増加	(29年度) 2787769	(R2年度) 3213675	・暖房機リース導入(4台)	9.7%	新型コロナウイルスの影響で単価安	新型コロナウイルス感染拡大に伴う花き需要の大幅減のため達成できなかった。地域協議会としては今後の推移をみるとともに、コロナ禍における需要の創出を模索する必要があると考える。	新型コロナウイルス感染拡大に伴う需要の減少と単価の下落により、成果目標の達成に遅れが生じている。このため、需要期に合わせた計画的な出荷と品質向上による目標達成に努める。あわせて、新たな需要の創出に努める。
		18	合志市	農業者	花き	10aあたり販売額の10%以上の増加	(29年度) 3378331	(R2年度) 3898239	・暖房機リース導入(2台)	-84.5%	新型コロナウイルスの影響で単価安	新型コロナウイルス感染拡大に伴う花き需要の大幅減のため達成できなかった。地域協議会としては今後の推移をみるとともに、コロナ禍における需要の創出を模索する必要があると考える。	新型コロナウイルス感染拡大に伴う需要の減少と単価の下落により、成果目標の達成に遅れが生じている。このため、需要期に合わせた計画的な出荷と品質向上による目標達成に努める。あわせて、新たな需要の創出に努める。
		19	合志市	農業者	花き	10aあたり販売額の10%以上の増加	(29年度) 3165726	(R2年度) 3641314	・暖房機リース導入(1台)	-176.4%	新型コロナウイルスの影響で単価安	新型コロナウイルス感染拡大に伴う花き需要の大幅減のため達成できなかった。地域協議会としては今後の推移をみるとともに、コロナ禍における需要の創出を模索する必要があると考える。	新型コロナウイルス感染拡大に伴う需要の減少と単価の下落により、成果目標の達成に遅れが生じている。このため、需要期に合わせた計画的な出荷と品質向上による目標達成に努める。あわせて、新たな需要の創出に努める。
		20	菊池市	農業者	花き	10aあたり販売額の10%以上の増加	(29年度) 4380460	(R2年度) 5146684	・暖房機(ヒートポンプ含む)リース導入(2台) (オイルタンク・防油堤を含む)	-122.9%	新型コロナウイルスの影響で単価安	新型コロナウイルス感染拡大に伴う花き需要の大幅減のため達成できなかった。地域協議会としては今後の推移をみるとともに、コロナ禍における需要の創出を模索する必要があると考える。	新型コロナウイルス感染拡大に伴う需要の減少と単価の下落により、成果目標の達成に遅れが生じている。このため、需要期に合わせた計画的な出荷と品質向上による目標達成に努める。あわせて、新たな需要の創出に努める。
菊池市農業再生協議会	6	1	菊池市	農業者	玉ねぎ	販売額の10%以上の増加 (円/10a)	(29年度) 183916	(R2年度) 261000	[リース導入] ・トラクター 1台 ・玉ねぎ移植機 1台 ・玉ねぎ収穫機 1台 ・玉ねぎ収穫機ピッカー 1台 ・玉ねぎ選別機 1台 ・溝掘機 1台 ・マニュアルプレッダー 1台	-158.7%	コロナの影響で契約出荷が出来ず、市場出荷、直売所等での販売しか出来ていない為、作付面積拡大が出来ない。コロナが収束し契約栽培が出来次第作付面積拡大を実施する予定。それが出来てくると、必然的に目標反収単価が取れるようになる。生産技術に関しては上がってきているので収量、品質は問題なし。	新型コロナウイルスの影響により契約販売が行えず、作付面積を拡大することができなかった。また生産したたまねぎの出荷先がなく、廃棄となったものもあり、十分な販売量が確保できない等厳しい状況が続いている。新型コロナウイルスの今後の経過を踏まえ対応を検討していく。	新型コロナウイルスの影響により契約販売が行えず、作付面積を拡大することができなかった。また生産したたまねぎの出荷先がなく、廃棄となったものもあり、十分な販売量が確保できない等厳しい状況が続いている。新型コロナウイルス禍に於ける新たな需要の創出に向けた支援を行い、取組目標達成に努める。
玉名市地域農業再生協議会	4	3	玉名市	農業者の組織する団体	果樹(温州みかん)	販売額の10%以上の増加 (円/10a)	(29年度) 374724	(R2年度) 414537	【資材】 シートマルチ、パイプ等被覆資材の導入(128.784ha)	247.2%	一部で水害等の自然災害があり減収となったものの、導入した資材の効果が十分に発揮できるよう、生産者・指導員で全ほ場を巡回して生産指導を行ったことで目標を達成することができた。	栽培面積及び販売単価に関しては目標を達成できなかったが、販売量は目標値を上回り、また、反収も目標を達成することができた。取組んだ事業について効果が出たといえる。	成果目標の10a当たりの販売額は増加しており、成果目標を達成できているものの、面積が大きく減少している。今後の産地維持が懸念される。販売単価が目標を達成できなかった要因を分析し、具体的な改善策が必要と考える。

b 生産支援事業

地域協議会名	整理番号	No.	地区名	取組主体名	対象作物名	取組目標		事業内容 (機械(能力、台数)、リース機械(能力、台数)、資材費等)	取組目標の達成状況	取組主体の評価	地域協議会等の評価	都道府県の評価
						現状値 (〇年度)	目標値 (〇年度)					
山鹿市農業再生協議会	2	1	山鹿市・熊本市北区植木町	農業者の組織する団体	いちご	10a 当たり販売額の10%以上増加	(29年度) 3,283,963円/10a (R2年度) 3,653,117円/10a	【農業機械等のリース導入】 ・フィルム細包機 1台 ・光合成促進装置 3台 ・自動開閉装置 1施設 ・循環扇 1施設 ・暖房機 2台 ・煙霧機 2施設 ・管理機 1台 【生産資材の導入】 ・高設ベンチ 2施設 ・育苗ベンチ 3施設 ・育苗ハウス 2施設	204.4%	H30年度から継続して高設ベンチ等の高品質化資材及び循環扇や自動開閉装置等の機械を導入したことで生産量と品質の底上げに繋がり、熊本県版GAPの取組による管理作業の行程化と併せ生産基盤の強化が図られた。これらにより取組目標である10a 当たり販売額の10%以上増加を達成した。	-	本事業で導入した施設や高設ベンチ、その他の機器により、生産量と品質の底上げに繋がり目標を達成することができた。
山鹿市農業再生協議会	3	1	山鹿市	農業者の組織する団体	WCS用稲	10a 当たり生産コストの10%以上削減	(29年度) 63,766円/10a (R2年度) 57,246円/10a	リース機械 (トラクター 1台) (飼料収穫機 1台、マルチヘッダー 1台) (ラッピングマシン 1台)	127.2%	面積は38.42haと計画である32.2haと比較し面積が拡大傾向にある。このため、フィルム代経費やトラック賃料等で経費が加算しているが、汎用収穫機による収穫体系に移行し3年目ということで技術やノウハウが確立しつつあり、燃料代や労務費については想定よりも削減されている。これにより10a 当たり生産コストについては、目標である57,246円/10a を達成することができた。	本事業による収穫・調整機械の導入で、技術の高度化・省力化が確立しつつあり、生産コストの削減効果がみられ、成果目標を達成することができた。	本事業で導入した収穫・調整機械によりWCS生産に係る作業効率の向上が図られた結果、生産コストの削減目標が達成されている。
山鹿市農業再生協議会	4	1	山鹿市小坂	農業者	桑	生産コストの10%以上の削減	(29年度) 245046 (R2年度) 213417	【資材導入】マルチシート 0.9ha分 【機械リース導入】 兼用中刈機 1台、兼用複合型茶園管理機 1台、堆肥散布装置 1台	245.3%	機械、資材の活用により、桑園労働力の大幅削減、並びに適期作業への労働力シフトによる他作業への効率向上が図られた。令和2年度は、成果目標の生産コスト10%以上の削減を達成できた。	兼用型中刈機や茶園管理機、マルチシートを導入したことにより、桑園労働力の大幅削減、並びに適期作業への労働力シフトによる他作業への効率向上が図られた。令和2年度は、成果目標の生産コスト10%以上の削減を達成できた。	本事業で導入した兼用型中刈機等により桑畑の管理作業に関する労働力の軽減や作業効率の向上が図られ、生産コストの削減につながり目標が達成されている。
阿蘇市地域農業再生協議会	1	1	阿蘇市	農業者の組織する団体	そば	10a 当たり販売額の10%以上の増加	(29年度) 5884 (R2年度) 11610	【機械リース】 汎用コンバインAG1140R 114馬力 2台 汎用コンバイン YH400 40馬力 1台	-15.9%	出荷量は達成したが、他地域も豊作だった為、供給過剰となり、販売単価が下落した。	目標の達成までには至っていないため、栽培管理の徹底を図る必要がある。	本事業でリース導入した機械により適期作業が行われ、規模拡大につながっている。しかし、供給過剰による販売単価低下により単位面積当たりの販売額が伸び悩んだため、目標未達成となっている。今後は販路の見直し等を指導することで、目標達成に努める。
鹿本地域果樹産地協議会	1	1	山鹿市・熊本市北区植木町地区	農業者の組織する団体	温州みかん、ハウスみかん、不知火類	10a 当たり販売額の10%以上増加	(28年度) 409931 (R2年度) 462291	【資材】 シートマルチ (435a)	250.3%	当該事業により導入した資材及び機械の活用と改植による圃地の整備及び水管理等の改善により生産量の拡大が図られ、目標である10a 当たり販売額の向上を達成することができた。	本事業において、シートマルチ・遮光ネット導入による生産環境の高度化をはじめ、省力化機械等の導入による作業効率化などへの効果を増大するため、生産者と関係機関が一体となり圃地の整備を進めたため、10aあたりの販売額の目標が達成された。	高品質化により販売単価は目標を上回っているが、面積が目標を下回っているため、今後は生産量維持の検討が必要と考える。

b 生産支援事業

地域協議会名	整理番号	No.	地区名	取組主体名	対象作物名	取組目標	取組目標		事業内容 (機械(能力、台数)、リース機械(能力、台数)、資材費等)	取組目標の達成状況	取組主体の評価	地域協議会等の評価	都道府県の評価
							現状値 (○年度)	目標値 (○年度)					
八代市農業再生協議会	4	2	八代市鏡地区	農業者	ミニトマト	10a販売額の10%の増加	(28年度) 5,434,477円 /10a	(R2年度) 6,242,361円 /10a	(生産資材導入) 高所誘引資材、レールシステム1式(35.7a) 収穫台車(レール用)5台 (リース導入) 電動作業台車(レール用)5台	211.1%	価格が低迷している中、出荷量の増加が図られ目標を達成することが出来た。	価格が低迷している中、導入装置の効果もあり出荷量の増加が図られ、目標を達成することができた。	本事業で導入した機器の効果もあり出荷量の増加が図られ、目標を達成することができた。
		3	八代市鏡地区	農業者	ミニトマト	10a販売額の10%の増加	(28年度) 6,005,746円 /10a	(R2年度) 6,953,730円 /10a	(生産資材導入) 高所誘引資材、レールシステム1式(42.0a) 収穫台車(レール用)6台 (リース導入) 電動作業台車(レール用)6台	-79.8%	導入装置の効果もあり、出荷量はあるものの、全国的な価格低迷の影響を受け、目標を達成することが出来なかった。今後も引き続き目標達成に向け努力していく。	導入装置の効果もあり出荷は順調なものの、全国的な価格低迷の影響を受け、目標を達成できていない。今後も引き続き目標達成に向け努力していく。	生産資材の導入、リース機械の導入により、作業性が向上したものの、価格低迷の影響もあり、目標未達であった。今後、計画的な栽培と効率的に作業をすすめるよう指導し、取組目標達成に努める。
		4	八代市鏡地区	農業者	トマト	10a販売額の7.3%の増加	(28年度) 4,194,159円 /10a	(R2年度) 4,501,661円 /10a	(生産資材導入) 高所誘引資材、レールシステム1式(26.0a) 収穫台車(レール用)4台 (リース導入) 養液土耕施設(85a:3棟)1台 電動作業台車(レール用)4台	-61.4%	導入装置の効果もあり、出荷量はあるものの、全国的な価格低迷の影響を受け、目標を達成することが出来なかった。今後も引き続き目標達成に向け努力していく。	導入装置の効果もあり出荷は順調なものの、全国的な価格低迷の影響を受け、目標を達成できていない。今後も引き続き目標達成に向け努力していく。	生産資材の導入、リース機械の導入により、作業性が向上したものの、価格低迷の影響もあり、目標未達であった。今後、計画的な栽培と効率的に作業をすすめるよう指導し、取組目標達成に努める。
		5	八代市鏡地区	農業者	トマト	10a販売額の2.7%の増加	(28年度) 4,566,136円 /10a	(R2年度) 4,693,886円 /10a	(生産資材導入) 高所誘引資材、レールシステム1式(26.0a) 収穫台車(レール用)4台 (リース導入) 電動作業台車(レール用)4台	602.7%	価格が低迷している中、出荷量の増加が図られ目標を達成することが出来た。	導入装置の効果もあり、目標を達成することができた。	価格が低迷している中、本事業で導入した機器の効果もあり出荷量の増加が図られ、目標を達成することができた。
		6	八代市鏡地区	農業者	ミニトマト	10a販売額の10%の増加	(28年度) 7,341,664円 /10a	(R2年度) 8,803,949円 /10a	(リース導入) 養液土耕施設(54a:2棟)1台	-85.1%	導入装置の効果もあり、出荷量はあるものの、全国的な価格低迷の影響を受け、目標を達成することが出来なかった。今後も引き続き目標達成に向け努力していく。	導入装置の効果もあり出荷は順調なものの、全国的な価格低迷の影響を受け、目標を達成できていない。今後も引き続き目標達成に向け努力していく。	リース機械の導入により、生鮮性が向上したものの、価格低迷の影響もあり、目標未達であった。今後、計画的な栽培と効率的に作業をすすめるよう指導し、取組目標達成に努める。
		八代市農業再生協議会	5	1	八代市郡築地区	農業者	トマト	10a当たり販売額の9%以上の増加	(28年度) 4,810,422円 /10a	(R2年度) 5,246,787円 /10a	【リース】 統合環境制御システム一式	222.5%	統合環境制御システムの導入により目標を達成することができた。
2	農業者			トマト		10a当たり販売額の9%以上の増加	(28年度) 4,280,950円 /10a	(R2年度) 4,703,421円 /10a	【リース】 統合環境制御システム一式	639.2%	統合環境制御システムの導入により目標を達成することができた。	統合環境制御システムの導入により目標を達成することができた。	本事業で導入した統合環境制御システムにより目標を達成することができた。
3	農業者			トマト		10a当たり販売額の10%以上の増加	(28年度) 4,729,814円 /10a	(R2年度) 5,350,302円 /10a	【リース】 統合環境制御システム一式	400.7%	統合環境制御システムの導入により目標を達成することができた。	統合環境制御システムの導入により目標を達成することができた。	本事業で導入した統合環境制御システムにより目標を達成することができた。
八代市農業再生協議会	6	1	八代市鏡地区	農業者	レタス	10a当たり販売額の3%以上の増加	(28年度) 515,977.7円 /10a	(R2年度) 531,971.2円 /10a	【リース】 トラクター1台(54ps)、野菜移植機1台、サブソイラー1台の導入	-889.5%	新型コロナウイルスの影響等で出荷量が落ち込み、目標を達成出来なかった。今後、目標を達成できるよう努力していく。	コロナ禍の影響を受け、出荷量、単価とも落ち込み目標を達成できなかった。今後の情勢を見据えながら、目標を達成出来るよう努力していく。	本事業で導入したトラクター、移植機等により、作業効率が向上した。しかし、コロナ禍の影響を受け、出荷量、単価共に落ち込み目標未達となっている。今後、需要に合わせた計画的な出荷の指導を行い、取組目標達成に努める。
八代市農業再生協議会	7	1	八代市松高地区	農業者	レタス	10a当たり販売額の10%以上の増加	(29年度) 300000	(R2年度) 334050	【リース】 トラクター1台(77ps)、ロータリー一式導入	226.1%	目標を達成することができた。今後も維持して目標を達成を行う。	機械の導入により、目標を達成することができた。今後も目標が達成できるように努力を行う。	機械の導入により、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるように、助言等行っていく。

b 生産支援事業

地域協議会名	整理番号	No.	地区名	取組主体名	対象作物名	取組目標	取組目標		事業内容 (機械(能力、台数)、リース機械(能力、台数)、資材費等)	取組目標の達成状況	取組主体の評価	地域協議会等の評価	都道府県の評価
							現状値 (○年度)	目標値 (○年度)					
氷川町 農業再生協議会	1	1	若洲	農業者	レタス	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とする	(29年度) 48.7%	(R2年度) 80.0%	ベタロン120本 グリーンカバー2本	163.9%	機械のリースや生産資材の導入により、計画的な生産、安定供給が可能となり、契約率を100%とすることができた。	機械のリース、生産資材の導入により安定的な生産が可能となったことで、契約栽培100%を達成することができた。	機械のリース、生産資材の導入により計画的、安定的な栽培が可能となり、契約率100%を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう、助言等行っていく。
		2	若洲	農業者	レタス	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とする。	—	(R2年度) 【契約取引】 100%	ベタロン 60本 グリーンカバー 1本	100.0%	生産資材の導入により、計画的な生産、安定供給が可能となり、契約率を100%とすることができた。	生産資材の導入により安定的な生産が可能となったことで、契約栽培100%を達成することができた。	生産資材の導入により計画的、安定的な栽培が可能となり、契約率100%を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう、助言等行っていく。
		3	若洲	農業者	レタス	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とする。	(29年度) 【契約取引】 0.0%	(R2年度) 【契約取引】 80.0%	ベタロン 120本 グリーンカバー 3本	125.0%	生産資材の導入により、計画的な生産、安定供給が可能となり、契約率を100%とすることができた。	生産資材の導入により安定的な生産が可能となったことで、契約栽培100%を達成することができた。	生産資材の導入により計画的、安定的な栽培が可能となり、契約率100%を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう、助言等行っていく。
		4	若洲	農業者	レタス	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とする。	(29年度) 【契約取引】 0.0%	(R2年度) 【契約取引】 80.0%	ベタロン120本 グリーンカバー2本	125.0%	生産資材の導入により、計画的な生産、安定供給が可能となり、契約率を100%とすることができた。	生産資材の導入により安定的な生産が可能となったことで、契約栽培100%を達成することができた。	生産資材の導入により計画的、安定的な栽培が可能となり、契約率100%を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう、助言等行っていく。
		5	若洲	農業者	レタス	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とする。	—	(R2年度) 【契約取引】 95.2%	ベタロン120本 グリーンカバー2本	105.0%	生産資材の導入により、計画的な生産、安定供給が可能となり、契約率を100%とすることができた。	生産資材の導入により安定的な生産が可能となったことで、契約栽培100%を達成することができた。	生産資材の導入により計画的、安定的な栽培が可能となり、契約率100%を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう、助言等行っていく。
		6	若洲	農業者	レタス	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とする。	(29年度) 47.0%	(R2年度) 80.0%	ベタロン312本 グリーンカバー2本 単棟ハウス資材 30棟	160.6%	生産資材の導入により、計画的な生産、安定供給が可能となり、契約率を100%とすることができた。	生産資材の導入により安定的な生産が可能となったことで、契約栽培100%を達成することができた。	生産資材の導入により計画的、安定的な栽培が可能となり、契約率100%を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう、助言等行っていく。
		7	若洲	農業者	レタス	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とする。	—	(R2年度) 【契約取引】 100.0%	ベタロン120本 グリーンカバー2本	100.0%	生産資材の導入により、計画的な生産、安定供給が可能となり、契約率を100%とすることができた。	生産資材の導入により安定的な生産が可能となったことで、契約栽培100%を達成することができた。	生産資材の導入により計画的、安定的な栽培が可能となり、契約率100%を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう、助言等行っていく。
		8	若洲	農業者	レタス	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とする。	(29年度) 33.3%	(R2年度) 【契約取引】 80.0%	ベタロン60本	142.8%	生産資材の導入により、計画的な生産、安定供給が可能となり、契約率を100%とすることができた。	生産資材の導入により安定的な生産が可能となったことで、契約栽培100%を達成することができた。	生産資材の導入により計画的、安定的な栽培が可能となり、契約率100%を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう、助言等行っていく。

b 生産支援事業

地域協議会名	整理番号	No.	地区名	取組主体名	対象作物名	取組目標		事業内容 (機械(能力、台数)、リース機械(能力、台数)、資材費等)	取組目標の達成状況	取組主体の評価	地域協議会等の評価	都道府県の評価
						現状値 (〇年度)	目標値 (〇年度)					
		3	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の7.7%以上の増加	(28年度) 5,132,768円/10a (R2年度) 5,530,222円/10a	(リース導入) 暖房機:HK-6027×1台 炭酸ガス発生装置:CG-554×1台 自動換気施設:M20RT6P100×18台 :制御機×2基	424.5%	本機導入により適正な温度管理や光合成促進のためのCO2供給により効率的な栽培管理に繋がった。そのことで目標以上の実績が達成できた。	適切な温度管理及び光合成促進の効果により大きく目標を上回ることができた。	機械のリースにより、安定的な生産に繋がりが、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。
		4	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の3.0%以上の増加	(28年度) 2,371,138円/10a (R2年度) 2,442,272円/10a	(リース導入) 暖房機:HK-5027 ×2台	3652.0%	本機の導入により適正な温度管理に繋がりが目標以上の実績が達成できた。	適切な温度管理により大きく目標を上回ることができた。	機械のリースにより、安定的な生産に繋がりが、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。
		5	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の1.0%以上の増加	(28年度) 4,800,075円/10a (R2年度) 4,850,956円/10a	(リース導入) 自動換気施設:M12KT9ACF×3台 :制御機1基	441.2%	本機の導入により適正な温度管理に繋がりが、樹勢のコントロールにより目標以上の実績が達成できた。	適切な温度管理により大きく目標を上回ることができた。	機械のリースにより、安定的な生産に繋がりが、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。
		6	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の3.0%以上の増加	(28年度) 5,768,397円/10a (R2年度) 5,941,449円/10a	(リース導入) 暖房機:HK-8026×1台	556.1%	本機の導入により適正な温度管理に繋がりが目標以上の実績が達成できた。	適切な温度管理により大きく目標を上回ることができた。	機械のリースにより、安定的な生産に繋がりが、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。
		7	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の2.0%以上の増加	(28年度) 4,292,866円/10a (R2年度) 4,378,723円/10a	(リース導入) 自動換気施設:M20RT6P100×14台 :制御機×1基	840.6%	自動換気施設の導入により、リアルタイムに換気ができ、収量の増加につながった。	適切な温度管理により大きく目標を上回ることができた。	機械のリースにより、安定的な生産に繋がりが、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。
		8	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の23%以上の増加	(28年度) 4,425,839円/10a (R2年度) 5,443,782円/10a	(リース導入) 暖房機:HK-6027×2台 電照施設:60W×476個	-7.2%	天候の影響から果房連続のため、年内在り以上に収穫が重なり、着果負担や作業遅れなどが見られた。そのことが収穫終盤の花芽が止まる要因となった。次年度については、樹勢コントロールを実現し目標達成を行う。	年内の果房連続による作業遅れ、収穫終盤の花芽の停止により、収量が減少した。JA指導員や有識者による栽培管理指導を支援する。	機器のリースにより、生産体制は整っていたものの、作業の遅れ等により減収し、目標未達となった。今後、作業遅れに繋がらないよう、適期の管理指導を行い、取組目標達成に努める。
		9	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の10.5%以上の増加	(28年度) 5,901,211円/10a (R2年度) 6,521,307円/10a	(リース導入) 自動換気施設:M12KT9ACF×2台 " :M20RT6P100×6台 " :制御機×2基 電照施設:60W×186個	-65.1%	天候の影響から果房連続のため、年内在り以上に収穫が重なり、着果負担や作業遅れなどが見られた。そのことが収穫終盤の花芽が止まる要因となった。次年度については、出荷を予想し早目からの管理に努めることで目標達成に繋げる。	年内の果房連続による作業遅れ、収穫終盤の花芽の停止により、収量が減少した。JA指導員や有識者による栽培管理指導を支援する。	機器のリースにより、生産体制は整っていたものの、作業の遅れ等により減収し、目標未達となった。今後、作業遅れに繋がらないよう、適期の管理指導を行い、取組目標達成に努める。
		10	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の12.6%以上の増加	(28年度) 1,611,417円/10a (R2年度) 1,814,965円/10a	(リース導入) 電照施設:60W×198個	58.3%	雨の影響で定植が10月にずれ込み、収穫量が減少した。次作は、定植のスケジュール管理を徹底し、目標達成を目指す。	定植の遅れにより収量が減少した。JA指導員や有識者による栽培管理指導を支援する。	機器のリースにより、生産体制は整っていたものの、作業の遅れ等により減収し、目標未達となった。今後、作業遅れに繋がらないよう、適期の管理指導を行い、取組目標達成に努める。

b 生産支援事業

地域協議会名	整理番号	No.	地区名	取組主体名	対象作物名	取組目標	現状値		事業内容 (機械(能力、台数)、リース機械(能力、台数)、資材費等)	取組目標の達成状況	取組主体の評価	地域協議会等の評価	都道府県の評価
							(〇年度)	(〇年度)					
		11	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の6.0%以上の増加	(28年度) 5,292,705円/10a	(R2年度) 5,610,268円/10a	(生産資材導入) (高設育苗施設: 2列 94.32㎡) 架台φ25.4×W1250×H1150 直管φ19.1×1.05×4060/7列 エムバト'メタル L-1219×S-2438 (高設育苗施設: 2列 117.9㎡) 架台φ25.4×W1550×H1150 直管φ19.1×1.05×4060/8列 エムバト'メタル L-1524×S-3048 (雨除けハウス: 1棟 235.8㎡) パイプ径: φ22mm パイプ間隔: 50cm 母屋パイプ: 3列	-181.7%	育苗期での土壌病害の発生により定植株の確保ができず、定植の遅れや本ほでの土壌病害発生の影響により目標を達成することができなかった。 次年度については、育苗期からの徹底防除を行い目標達成に繋げる。	育苗期の病害発生により定植株の確保ができず、定植の遅れ等により収量が減少した。JA指導員や有識者による栽培管理指導を支援する。	資材購入により、育苗時期の生産体制は整っていたものの、病害発生により定植株数を確保できず、定植遅れ等により減収し、目標未達となった。今後、防除の徹底、作業遅れに繋がらないよう、適期の管理指導を行い、取組目標達成に努める。
		12	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の3.0%以上の増加	(28年度) 2,952,894円/10a	(R2年度) 3,041,481円/10a	(リース導入) 暖房機: HK-6027×2台	2783.5%	本機の導入により栽培の生育管理に係る温度管理、の効果を十分発揮し適正管理が実現でき目標以上の実績が達成できた。	適切な温度管理により大きく目標を上回ることができた。	機械のリースにより、安定的な生産に繋がりが、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。
		13	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の35.0%以上の増加	(28年度) 3,857,938円/10a	(R2年度) 5,209,852円/10a	(リース導入) 暖房機: HK-6027×2台 炭酸ガス発生装置: CG-554×2台 自動換気施設: M20RT6P100×18台 制御盤1基 電照施設: 60W×621個 (生産資材導入) (単棟ハウス: 2棟 1,123.2㎡) パイプ径: φ22mm パイプ間隔: 50cm 母屋パイプ: 3列	64.5%	本機の導入による面積の拡大や生育のコントロールに努めたが、天候の影響から果房連続のため、年内在平年以上に収穫が重なり、着果負担や作業遅れなどが見られた。そのことが収穫終盤の花芽が止まる要因となった。次年度については、樹勢コントロールを実現し目標達成を行う。	JA指導員や有識者による栽培管理指導を支援する。	機器のリースにより、生産体制は整っていたものの、作業の遅れ等により減収し、目標未達となった。今後、作業遅れに繋がらないよう、適期の管理指導を行い、取組目標達成に努める。 生産資材の導入により、生産体制は整っていたものの、作業の遅れ等により減収し、目標未達となった。今後、作業遅れに繋がらないよう、適期の管理指導を行い、取組目標達成に努める。
		14	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の6.2%以上の増加	(28年度) 4,515,929円/10a	(R2年度) 4,798,665円/10a	(生産資材導入) (高設栽培装置: 2,098㎡) 7'リズ'リーザ'キット 高設専用培土	350.1%	高設栽培の導入による作業の効率化を図り、圃場全体の栽培管理を徹底することができ目標以上の実績となった。	作業の効率化及び健苗育成により、目標を大きく上回ることができた。	生産資材の導入により、安定的な生産に繋がりが、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。
		15	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の2.3%以上増加	(28年度) 2,148,084円/10a	(R2年度) 2,197,922円/10a	(リース導入) 自動換気施設: M20RT6P100×14台 制御盤1基 (生産資材導入) (単棟ハウス: 7棟 2,730㎡) パイプ径: 22mm、パイプ間隔: 50cm 母屋パイプ: 3列	1462.6%	単棟ハウスの新規導入により作付面積を拡大し、自動換気施設の導入により反収の増加につながった。	適切な温度管理により大きく目標を上回ることができた。	機械のリースにより、安定的な生産に繋がりが、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。 生産資材の導入により、安定的な生産に繋がりが、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。
		16	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の12.0%以上の増加	(28年度) 4,612,806円/10a	(R2年度) 5,166,342円/10a	(リース導入) 炭酸ガス発生装置: CG-554×2台 自動換気施設: M12KT9ACF×3台 " : M20RT6P100×8台 " : 制御盤×2基	184.0%	本機の導入により栽培の生育管理に係る光合成促進、電照管理の効果を十分発揮し適正管理が実現でき目標以上の実績が達成できた。	適切な温度管理及び光合成促進の効果により大きく目標を上回ることができた。	機械のリースにより、安定的な生産に繋がりが、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。

b 生産支援事業

地域協議会名	整理番号	No.	地区名	取組主体名	対象作物名	取組目標		事業内容 (機械(能力、台数)、リース機械(能力、台数)、資材費等)	取組目標の達成状況	取組主体の評価	地域協議会等の評価	都道府県の評価	
						現状値 (〇年度)	目標値 (〇年度)						
氷川町 農業再生協議会	2	17	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の20.0%以上の増加	(28年度) 2,159,132円/10a	(R2年度) 2,590,959円/10a	(リース導入) 電照施設: 60W×220個	684.4%	電照施設を導入したことにより、いちごの生育が促進され、反収の増加につながった。	樹勢促進の効果により大きく目標を上回ることができた。	機械のリースにより、安定的な生産に繋がりを、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。
		18	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の19.0%以上の増加	(28年度) 4,094,646円/10a	(R2年度) 4,872,628円/10a	(リース導入) (暖房機) HK-8026×2台 (炭酸ガス発生装置) CG-554×1台、CG-854×1台 (生産資材導入) (高設育苗施設: 12列 450㎡) 架台φ25.4×W1550×H1150 直管φ19.1×1.05×4060/8列 エキパントマシ L-1524×S-3048	128.2%	本機の導入により育苗期の病虫害を防ぎ、栽培の生育管理に係る温度管理や光合成を促進し導入効果を十分発揮し目標以上の実績が達成できた。	適切な温度管理、光合成促進及び健苗育成の効果により大きく目標を達成することができた。	機械のリース、生産資材の導入により、安定的な生産に繋がりを、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。
		19	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の3.0%以上の増加	(28年度) 4,954,602円/10a	(R2年度) 5,103,240円/10a	(リース導入) 暖房機: HK6027×2台	777.2%	本機の導入により温度管理の効果を十分発揮し目標以上の実績が達成できた。	適切な温度管理により大きく目標を上回ることができた。	機械のリースにより、安定的な生産に繋がりを、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。
		20	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の6.0%以上の増加	(28年度) 2,241,009円/10a	(R2年度) 2,375,469円/10a	(生産資材導入) (高設育苗施設: 360㎡) 架台φ25.4×W1250×H1150 直管φ19.1×1.05×4060/7列 エキパントマシ L-1219×S-2438 (雨除けハウス: 600㎡) 5.0m×78.0m×7棟 パイプ径: 直径22mm パイプ間隔: 50cm、母屋パイプ: 3列	1197.9%	本施設を導入することで育苗期における病害の発生を抑えることで収量向上に繋げる事ができた。	作業の効率化及び健苗育成により、目標を大きく上回ることができた。	生産資材の導入により、安定的な生産に繋がりを、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。
		21	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の3.0%以上の増加	(28年度) 4,463,065円/10a	(R2年度) 4,596,957円/10a	(リース導入) 暖房機: HK5027×2台	975.5%	本機の導入により温度管理を徹底でき目標以上の実績が達成できた。	適切な温度管理により大きく目標を上回ることができた。	機械のリースにより、安定的な生産に繋がりを、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。
		22	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の6.0%以上の増加	(28年度) 5,451,484円/10a	(R2年度) 5,778,573円/10a	(生産資材導入) (高設育苗施設: 9列 275.4㎡) 架台φ25.4×W1250×H1150 直管φ19.1×1.05×4060/7列 エキパントマシ L-1219×S-2438 (雨除けハウス: 390㎡) 5.0m×78.0m×7棟	391.6%	育苗施設の導入により健苗育成を実現でき、目標以上の実績に繋がった。	作業の効率化及び健苗育成により、目標を大きく上回ることができた。	生産資材の導入により、安定的な生産に繋がりを、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。
		23	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の14.0%以上の増加	(28年度) 5,379,717円/10a	(R2年度) 6,136,604円/10a	(リース導入) 電照施設: W60×417個	52.0%	本機の導入により樹勢維持に努めたが、予想を反して果房連続のため、年内が平年以上に収穫が重なり、着果負担や作業遅れなどが見られた。そのことが収穫終盤の花芽が止まる要因となった。次年度については、管理作業を徹底し目標達成に繋げたい。	年内の果房連続による作業遅れ、収穫終盤の花芽の停止により、収量が減少した。JA指導員や有識者による栽培管理指導を支援する。	機械のリースにより、生産体制は整っていたものの、作業の遅れ等により減収し、目標未達となった。今後、作業遅れに繋がらないよう、適期の管理指導を行い、取組目標達成に努める。
		24	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の1.8%以上の増加	(28年度) 3,664,478円/10a	(R2年度) 3,732,432円/10a	(リース導入) 暖房機: HK8026×1台	4040.1%	本機の導入により保温管理による効果を十分発揮し大玉生産となり目標以上の実績が達成できた。	適切な温度管理により大きく目標を上回ることができた。	機械のリースにより、安定的な生産に繋がりを、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。
		25	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の6.0%以上の増加	(28年度) 4,968,473円/10a	(R2年度) 5,266,581円/10a	(生産資材導入) (高設育苗施設: 8列 662.4㎡) 架台φ25.4×W1250×H1150 直管φ19.1×1.05×4060/7列 エキパントマシ L-1219×S-2438	318.0%	育苗施設を改善し健苗育成となり栽培管理も含め収量アップに繋がることができたことで目標以上の実績が達成できた。	作業の効率化及び健苗育成により、目標を大きく上回ることができた。	生産資材の導入により、安定的な生産に繋がりを、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。
		26	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の13.0%以上の増加	(28年度) 3,100,706円/10a	(R2年度) 3,503,798円/10a	(リース導入) 暖房機: HK5027×1台 HK6027×1台 炭酸ガス発生装置: CG254×1台 CG554×1台	555.8%	本機を導入することで温度管理の徹底、光合成促進を図ることができ目標以上の実績が達成できた。	適切な温度管理及び光合成促進の効果により大きく目標を上回ることができた。	機械のリースにより、安定的な生産に繋がりを、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。

b 生産支援事業

地域協議会名	整理番号	No.	地区名	取組主体名	対象作物名	取組目標		事業内容 (機械(能力、台数)、リース機械(能力、台数)、資材費等)	取組目標の達成状況	取組主体の評価	地域協議会等の評価	都道府県の評価
						現状値 (〇年度)	目標値 (〇年度)					
		27	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の1.0%以上の増加	(28年度) 5,125,362円/10a (R2年度) 5,177,036円/10a	(リース導入) 自動換気施設: M12KT9ACF×4台	1425.6%	本機導入により生育管理に係る温度管理の効果を十分発揮し適正管理が実現できた。そのことで目標以上の実績が達成できた。	適切な温度管理により大きく目標を上回ることができた。	機械のリースにより、安定的な生産に繋がりが、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。
		28	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の7.8%以上の増加	(28年度) 3,888,218円/10a (R2年度) 4,193,073円/10a	(リース導入) 暖房機: HK-4027×1台 炭酸ガス発生装置: CG-254×2台	799.6%	本機の導入により生育期間の温度管理や光合成を促進させたことにより適正管理が実現でき目標以上の実績が達成できた。	適切な温度管理及び光合成促進の効果により大きく目標を上回ることができた。	機械のリースにより、安定的な生産に繋がりが、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。
		29	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の20.0%以上の増加	(28年度) 5,650,207円/10a (R2年度) 6,782,509円/10a	(リース導入) 電照施設: 60W×349個 (生産資材導入) 単棟ハウス: 2棟 607.5㎡ パイプ径: φ22mm パイプ間隔: 50CM 母屋パイプ: 3列	-41.3%	取引先の都合により紅ほっぺから恋みのりに品種を変更したこと、うどんこ病が発生したことにより、収量が減少した。次作は品種に合わせた栽培方法と病害発生予防を徹底する。	栽培管理の不慣れな品種への変更及び病害の発生により収量が減少した。JA指導員や有識者による新品種の栽培管理指導を支援する。	機械リース導入、生産資材導入により、生産体制は整っていたものの、栽培管理の不慣れや品種の変更及び病害発生により減収し、目標未達となった。今後、防除の徹底、作業遅れに繋がらないよう、適期の管理指導を行い、取組目標達成に努める。
		30	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の6.0%以上の増加	(28年度) 5,340,243円/10a (R2年度) 5,660,658円/10a	(生産資材導入) (高設育苗施設: 2列 237㎡) 架台φ25.4×W1550×H1150 直管φ19.1×1.05×4060/8列 エキバントマルチ L-1524×S-3048 (雨除けハウス: 1棟 420㎡) パイプ径: φ22mm パイプ間隔: 50cm 母屋パイプ: 3列 (リース導入) 電照施設: 60W×132個	593.6%	育苗施設の規模拡大により、面積拡大に対応することができた。また、健苗育成により目標以上の実績が達成できた。	作業の効率化及び健苗育成により、目標を大きく上回ることができた。	生産資材の導入により、安定的な苗生産に繋がりが、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。
		31	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の10.1%以上の増加	(28年度) 5,650,221円/10a (R2年度) 6,224,193円/10a	(生産資材導入) (単棟ハウス: 2棟 1,000㎡) パイプ径: 22mm、パイプ間隔: 50cm 母屋パイプ: 3列 (高設育苗施設: 4列 468㎡) 架台φ25.4×W1250×H1150 直管φ19.1×1.05×4060/7列 エキバントマルチ L-1219×S-2438	220.1%	本機の導入により規模拡大・新品種の導入に対応でき目標以上の実績が達成できた。	樹勢促進、作業の効率化及び健苗育成により、目標を達成することができた。	生産資材の導入、機械リースの導入により、安定的な生産に繋がりが、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。
		32	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の1.0%以上の増加	(28年度) 3,753,102円/10a (R2年度) 3,790,867円/10a	(リース導入) 暖房機: HK-5027×1台	-205.1%	栽培品『豊の香』を栽培しているが3月の異常高温により痛み果が発生し出荷できない部分が多く目標達成ができなかった。次年度については新品種の導入や適正管理に努め目標達成に繋げる。	3月の異常高温による痛み果の発生により収量が減少した。JA指導員や有識者による新品種の栽培管理指導を支援する。	機械リース導入により、生産体制は整っていたものの、3月以降の痛み果の多発生により減収し、目標未達となった。今後、適期の管理指導を行い、取組目標達成に努める。
		33	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の13.0%以上の増加	(28年度) 5,339,376円/10a (R2年度) 6,033,616円/10a	(リース導入) 暖房機: HK-5027×1台 炭酸ガス発生装置: CG-554×1台 (生産資材導入) (高設育苗施設: 576㎡) 架台φ25.4×W1250×H1150 直管φ19.1×1.05×4060/7列 エキバントマルチ L-1219×S-2438	141.6%	本機の導入により健苗育成、栽培管理に係る温度管理の効果を十分発揮し適正管理が実現でき目標以上の実績が達成できた。	作業の効率化、健苗育成、適切な温度管理及び光合成促進の効果により目標を達成することができた。	生産資材の導入、機械リースの導入により、安定的な生産に繋がりが、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。
		34	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の13.3%以上の増加	(28年度) 3,994,881円/10a (R2年度) 4,527,532円/10a	(リース導入) 電照施設: 60W×252個	256.3%	電照施設を導入したことにより、いちごの生育が促進され、反収の増加につながった。	樹勢促進の効果により、目標を達成することができた。	機械リースの導入により、安定的な生産に繋がりが、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。
		35	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の6.0%以上の増加	(28年度) 6,294,557円/10a (R2年度) 6,672,230円/10a	(生産資材導入) (高設育苗施設: 312㎡) 架台φ25.4×W1250×H1150 直管φ19.1×1.05×4060/7列 エキバントマルチ L-1219×S-2438 (高設育苗施設: 487.5㎡) 架台φ25.4×W1550×H1150 直管φ19.1×1.05×4060/8列 エキバントマルチ L-1524×S-3048	315.8%	育苗施設の導入により規模拡大に対応でき目標以上の実績に繋がった。	作業の効率化及び健苗育成により、目標を大きく上回ることができた。	生産資材の導入により、安定的な生産に繋がりが、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。

b 生産支援事業

地域協議会名	整理番号	No.	地区名	取組主体名	対象作物名	取組目標		事業内容 (機械(能力、台数)、リース機械(能力、台数)、資材費等)	取組目標の達成状況	取組主体の評価	地域協議会等の評価	都道府県の評価
						現状値 (○年度)	目標値 (○年度)					
		36	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の9.9%以上の増加	(28年度) 4,305,920円/10a (R2年度) 4,735,830円/10a	(生産資材導入) 高設栽培装置: 3,152.5㎡ 7'リース'リザ'ネット' 高設専用培土	338.7%	本機の導入により栽培の効率化を図り、その分を管理作業に充て効果を十分発揮でき目標以上の実績が達成できた。	健苗育成により、目標を大きく上回ることができた。	生産資材の導入により、安定的な生産に繋がりを、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。
		37	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の6.3%以上の増加	(28年度) 7,602,222円/10a (R2年度) 8,081,393円/10a	(生産資材導入) 単棟ハウス: 2棟 900㎡ パイプ径: 22mm、パイプ間隔: 50cm 母屋パイプ: 3列 高設育苗施設: 8列 339.6㎡ 架台φ25.4×W1250×H1150 直管φ19.1×1.05×4060/7列 エポント'メタル L-1219×S-2438	-185.3%	天候の影響から果房連続のため、年内が平年以上に収穫が重なり、着果負担や作業遅れなどが見られた。そのことが収穫終盤の花芽が止まる要因となった。次年度については管理作業の徹底を図り目標達成に繋げていく。	年内の果房連続による作業遅れ、収穫終盤の花芽の停止により、収量が減少した。JA指導員や有識者による栽培管理指導を支援する。	生産資材の導入により、生産体制は整っていたものの、作業の遅れ等により減収し、目標未達となった。今後、作業遅れに繋がらないよう、適期の管理指導を行い、取組目標達成に努める。
		38	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の1.0%以上の増加	(28年度) 5,683,465円/10a (R2年度) 5,740,846円/10a	(リース導入) 暖房機: HK-3027 ×1台	1343.4%	本機の導入により生育管理に係る温度管理の効果を十分発揮し適正管理が実現でき目標以上の実績が繋がった。	適切な温度管理により大きく目標を上回ることができた。	機械のリースにより、安定的な生産に繋がりを、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。
		39	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の1.7%以上の増加	(28年度) 5,305,738円/10a (R2年度) 5,397,756円/10a	(リース導入) 自動換気施設: M20RT6P100×14台 制御盤×1基	1013.3%	本機の導入により生育管理に係る温度管理の効果を十分発揮し適正管理が実現でき目標以上の実績が達成できた。	適切な温度管理により大きく目標を上回ることができた。	機械のリースにより、安定的な生産に繋がりを、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。
		40	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の7.9%以上の増加	(28年度) 4,997,047円/10a (R2年度) 5,395,708円/10a	(リース導入) 暖房機: HK-8026×1台 炭酸ガス発生装置: CG-554×1台	319.3%	本機の導入により温度管理の徹底、光合成を促進でき導入効果を十分発揮し目標以上の実績に繋がった。	適切な温度管理及び樹勢促進の効果により大きく目標を上回ることができた。	機械のリースにより、安定的な生産に繋がりを、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。
		41	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の32.0%以上の増加	(28年度) 3,171,410円/10a (R2年度) 4,186,261円/10a	(リース導入) 炭酸ガス発生装置: CG-554×1台 自動換気施設: M20RT6P100×12台 制御盤×1基 電照施設: 60W×402個	96.9%	定植遅れによる年内収量の低下により需要期を外れ目標単価を下げる要因となった。次年度については適正作業に努め目標達成に繋げる。	定植遅れにより収量が減少した。JA指導員や有識者による栽培管理指導を支援する。	機械のリースにより、生産体制は整っていたものの、作業の遅れ等により減収し、目標未達となった。今後、作業遅れに繋がらないよう、適期の管理指導を行い、取組目標達成に努める。
		42	氷川町	農業者	いちご	10a販売額の6.0%以上の増加	(28年度) 2,735,250円/10a (R2年度) 2,899,365円/10a	(生産資材導入) 高設育苗施設: 343.2㎡ 架台φ25.4×W1250×H1150 直管φ19.1×1.05×4060/7列 エポント'メタル L-1219×S-2438	-54.8%	育苗施設の改善を図ったが、天候により畝作りが遅れ本圃での消毒期間が取れず土壌病害の発生により目標を達成することができなかった。次作については早目からの管理の徹底を図り目標達成に繋げていきたい。	土壌病害の発生により収量が減少した。JA指導員や有識者による栽培管理指導を支援する。	生産資材の導入により、生産体制は整っていたものの、病害発生により減収し、目標未達となった。今後、病害が発生しないように、適期の防除管理指導を行い、取組目標達成に努める。

b 生産支援事業

地域協議会名	整理番号	No.	地区名	取組主体名	対象作物名	取組目標		事業内容 (機械(能力、台数)、リース機械(能力、台数)、資材費等)	取組目標の達成状況	取組主体の評価	地域協議会等の評価	都道府県の評価
						現状値 (○年度)	目標値 (○年度)					
あさぎ町地域農業再生協議会	2	1	人吉球磨	農業者	薬用作物	販売額の0.5%以上の増加(反収)	(29年度) 187千円/10a (R2年度) 188千円/10a	【機械リース】 ミシマサイコ根掘り取り機 (作業幅60cm×深さ20cm~25cm) 2台	5200.0%	豪雨災害により収穫できた面積は減少したが、導入機械を用いた栽培、出荷技術の確立によりロスを抑えることにより目標を達成することができました。	導入機械による生産性が安定してきたため、豪雨災害の影響を受けて収穫できなかったロスを最小限にとどめ目標を達成することができたと思われます。	本事業で導入した機械・施設により、適期作業や効率化による出荷数量の増加につながり、反収の増加目標が達成されている。
あさぎ町地域農業再生協議会	3	1	球磨地域	農業者の組織する団体	いちご	販売額の10%以上の増加	(29年度) 3990051 (R2年度) 4654839	高設ベンチ資材導入	180.9%	県の推奨品種である「ゆうべに」品種転換し、導入資材による生産技術が確立できたため目標を達成できた。	導入資材による生産技術の確立・向上により出荷量が増えて取組目標を達成することができた。	生産資材の導入により、安定的な生産に繋がりを、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。
		3	球磨地域	農業者の組織する団体	いちご	販売額の10%以上の増加	(29年度) 4,341,154円/10a (R2年度) 4,998,983円/10a	電照資材導入 イチゴ暖房機・自動換気装置・炭酸ガス発生装置等リース導入	232.6%	県の推奨品種である「ゆうべに」品種転換し、導入資材による生産技術が確立できたため目標を達成できた。	導入資材による生産技術の確立・向上により出荷量が増えて取組目標を達成することができた。	機械のリースにより、安定的な生産に繋がりを、目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。
天草市農業再生協議会	1	5	天草市	農業者の組織する団体	施設野菜(ミニトマト)	販売額の10%以上の増加	(29年度) 0円/10a (R2年度) 5,000,000円/10a	農業機械等のリース導入・暖房機 生産資材の導入 ・二重カーテン ・灌水資材	117.2%	目標に達することができた。	単価が低くなっているものの、目標収量を大幅に超えたことで、目標達成となっている。	生産資材の導入、機械リースの導入により、安定的な生産に繋がりを、単価は低かったものの目標を達成することができた。引き続き、目標達成できるよう助言等行っていく。

c 効果増進事業

イ 整備事業

内訳

地域協議会名	整理番号	No.	地区名	取組主体名	対象作物名	取組目標		事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	取組目標の達成状況	取組主体の評価	地域協議会等の評価	都道府県の評価	
						現状値 (29年度)	目標値 (2年度)						
城南・富合地域農業再生協議会	2	1	熊本市	農業者の組織する団体	イチゴ	10a当たり販売額の10%以上の増加	(28年度) 3,709,177円/10a	4,303,574円/10a	290.9%	集出荷作業を統合することにより、品質のばらつきを軽減し、市場供給に対して、安定出荷することにより、高価格販売に繋がった。	集出荷作業を統合することにより、品質のばらつきを軽減し、市場供給に対して、安定出荷に繋がった。	集出荷作業を統合することにより、品質のばらつきを軽減し、市場供給に対して、安定出荷に繋がった。	
城南・富合地域農業再生協議会	1	1	熊本市南区域南町地区	農業者	玉ねぎ	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上	全出荷量45,040kgの内10,140kg契約量(22.5%)	全出荷量640,943kgの内352,519kg契約量(55.0%)	94.2%	前年度から出荷していた業者との契約が5月で終了したため、市場への出荷が増えてしまった。次年度は、今年より契約を交わした業者への出荷を増やす。	出荷先の減少により目標に少し及ばなかったが、今後は引き続き契約数及び契約量を増やし目標を達成できるようにする。	出荷先の減少により、目標を若干下回った。今後は、取組目標達成に向けて、引き続き契約数及び契約量を増やし目標を達成できるようサポートする。	
山鹿市農業再生協議会	2	2	山鹿市	農業者	いちご	10a当たり販売額の10%以上の増加	(28年度) 4,197,736円/10a	5,242,801円/10a	214.9%	低コスト耐候性ハウス(耐風 35m/s) 1棟 2,470㎡ 暖房機、自動開閉装置、循環扇、灌水施設、光合成促進施設	低コスト耐候性ハウス及び付帯設備の整備により、栽培環境の高度化が図られ、熊本県版GAPの取組による栽培工程管理導入により生産量の増加させることができた。これらにより取組目標である10a当り販売額の10%以上増加を達成した。	本事業により低コスト耐候性ハウス及び内部施設を整備し、栽培環境等生産体制が整い、取組主体の中でも多い単収を確保し、目標を達成した。引き続き、取組目標を達成できるよう支援していく。	
山都地域農業再生協議会	2	1	矢部地区	農業者	ミニトマト	10a当たり販売額の10%以上の増加	-	6,875千円/10a	52.4%	低コスト耐候性ハウス(耐風速50m 13棟 4,470㎡) ・養液栽培装置 ・自動開閉装置 ・細霧冷房装置 ・環境測定装置 ・暖房機 ・炭酸ガス発生装置 ・カーテン施設 ・循環扇 ・換気扇	7月の豪雨での樹勢の著しい低下により、8月以降の収量が大幅減となった。またコロナの影響により、契約出荷の受注減により売上確保ができなかった。	豪雨等の気象災害やコロナウイルスの影響により左右された部分が多かった。年々、規模も拡大しているため安定的な出荷を行うことが重要。	日射量が少ない時期に草勢低下を招き、回復に時間を要し、出荷量は伸び悩んだため、目標未達成となっている。草勢管理、肥培管理等の徹底が必要。
山都地域農業再生協議会	3	1	矢部・清和・上差尾地区	農業者の組織する団体	さといも	10a当たり販売額の10%以上の増加	180,600円/10a	244,776円/10a	115.3%	さといも選果機一式 98,136kg/年	当選果機の導入により、個人選果から共同選果へ移行すること	生産量の拡大と共に品質の向上等により市場から高い評価を得	選果機の導入により、品質向上に繋がりと、市場評価は高く、目
阿蘇市農業再生協議会	1	1	阿蘇市	農業者の組織する団体	そば	10a当たり販売額の10%以上の増加	5,884円/10a	11,610円/10a	-15.9%	そば乾燥調整施設 H32荷受計画量 58,500kg/年 (フレコン計量機 1基、荷受設備一式、遠赤外線乾燥機 3基、乾燥機搬出ベルトコンベア 1基、タンク張込昇降機 1基、流調タンク 1基、組選機 1基、風選別機 1基、昇降機付石抜機 1基、排塵装置付縦型粒選別機 1基、製品タンク張込昇降機 1基、製品タンク 1基、袋詰自動計量機 1基、燃料タンク 1基、操作盤 1面)	出荷量は達成したが、他地域も豊作だったため、供給過剰となり	他品目との共用が解消され、適期刈取が実現されたことにより	本事業で導入した施設により適期作業が行われ、規模拡大につながっている。しかし、供給過剰による販売単価低下により単位面積当たりの販売額が伸び悩んだため、目標未達成となっている。今後は販路の見直し等を指導することで、目標達成に努める。
八代市農業再生協議会	4	1	八代市鏡地区	農業者の組織する団体	ミニトマト	10a当たり販売額の10%以上の増加	(28年度) 5,917,186円/10a	6,807,000円/10a	36.2%	高度技術導入施設 対象面積1.65ha ・養液栽培施設 ・立体栽培施設 ・細霧冷房施設	導入装置の効果もあり、出荷量は確保できたものの、全国的な価格低迷の影響を受け、目標を達成することが出来なかった。引き続き目標達成に向け努力していく。	全国的な価格低迷の影響により、目標を達成することが出来なかった。しかし、出荷量は増加しており、今後も目標達成に向け努力していく。	高度技術導入施設の導入により、生産体制は整ったものの、取組主体内の生産者毎に、出荷量に差が見られ、販売高にも差がみられ、目標未達成であった。今後、栽培指導を徹底し、取組目標達成に努める。

イ 整備事業

内訳

地域協議会名	整理番号	No.	地区名	取組主体名	対象作物名	取組目標	取組目標		事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	取組目標の達成状況	取組主体の評価	地域協議会等の評価	都道府県の評価
							現状値 (29年度)	目標値 (2年度)					
八代市農業再生協議会	2	1	八代市鏡・郡築地区	農業者の組織する団体	キャベツ、シタス	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上	52%	94%	育苗施設10棟 0.71ha 妻・側部開閉装置、谷部開閉施設、循環扇、換気扇、自動内張カーテン装置、暖房施設	111.9%	施設の導入効果もあり目標を達成することができた。	コロナ禍の影響により、出荷量は低迷したものの、契約数量は伸びており、目標を達成することが出来た。今後も引き続き目標達成に向けて努力してもらう。	コロナ禍により、契約数量は伸びており、目標達成に繋がった。今後も引き続き目標達成に向けてサポートする。
あさぎ町地域農業再生協議会	2	1	人吉球磨	農業者	薬用作物	販売額の0.5%以上の増加(反収)	187千円/10a	188千円/10a	農産物処理加工施設 ミシマサイコ噴射式洗浄機 (EWA400-4S) 3台 自動梱包機 (幅65cm×高さ50cm) 1台	5200.0%	豪雨災害により収穫できた面積は減少したが、導入機械を用いた栽培、出荷技術の確立によりロスを抑えることにより目標を達成することができた。	導入機械による生産性が安定してきたため、豪雨災害の影響を受けて収穫できなかったロスを最小限にとどめ目標を達成することができたと思われる。	本事業で導入した機械・施設により、適期作業や効率化による出荷数量の増加につながり、反収の増加目標が達成されている。
天草市農業再生協議会	1	4	天草市	農業者	ミニトマト	10a当たり販売額の10%以上の増加	0円/10a	4,500,000円/10a	低コスト耐候性ハウス ・低コスト耐候性ハウス960㎡ 1棟 ・循環扇 ・換気扇 ・暖房機 ・灌水設備 ・自動開閉装置 ・自動カーテン設備 ・光合成促進施設	91.4%	全国的な単価安が影響し、目標に達することが出来なかった。栽培管理を徹底し、前年以上の収量増を目指す。	目標単収9,000kgに対し、実績が9,753kgと達成しているが、単価安により販売額の目標達成に及ばなかった。栽培管理は順調であり、今後も成長が見込まれる。	低コスト耐候性ハウスと内部機器の整備により、生産体制が整い、安定生産が可能となったが、単価安の影響を受け、目標未達となった。今後、計画的な栽培により、さらに収量を確保できるようサポートしていく。
八代市農業再生協議会	3	1	八代市南部地区	農業者	水稻	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上	48.3%	78.6%	穀類乾燥調製施設の導入 (乾燥機 (40石) 2台)	125.4%	目標を達成することが出来た。引続き目標達成を維持するように努力を行う。	目標を達成することが出来た。引続き目標達成を維持するように努力を行う。	計画的な出荷契約の締結により目標を達成している。今後も契約を維持し、収益を確保できるよう指導を行っていく。